

広報 あがの



1歳6か月健診にて（3月6日）

特 集

一歩踏み出すまちづくり！

—平成27年度施政方針と当初予算—



対話と共感
たいわときょうかん

- 特集 平成27年度施政方針と当初予算 2～7
- 組織機構、火災予防、男女共同参画 8～11
- 見て歩記、お知らせ版 12～27
- ふるさと探訪、おしゃべり広場 28～29
- 私の住む地域、心の道、クイズ、キッズほか ... 30～32

施政方針

平成 27 年第 1 回阿賀野市議会定例会（3 月）において、市長が述べた施政方針の概要を紹介します。施政方針とは、市長の市政運営に対する基本姿勢や当該年度の重点施策、予算編成の基本方針などを説明したものです。（全文は市ホームページに掲載しています）

地方創生と 5 つの政策の柱



公約に掲げた 5 つの政策の柱を着実に進めるとともに、引き続き『子育て環境日本一！のまちづくり』『健康寿命日本一！のまちづくり』に重点を置くほか、「人口減少対策」「地域活性化対策」など「地方創生」につながる施策を積極的に進め『元気で明るく活力ある魅力的なまち』の実現を目指します。

5 つの政策の柱①

安全・安心な暮らしの実現 —安心して暮らせるまちづくり—

- 「あがの市民病院」の 10 月 1 日開院に向け鋭意整備を進めます。また、指定管理者である新潟県厚生農業協同組合連合会と連携し、新潟大学との関係を重視しながら医師の確保を進めます。4 月から数人の常勤医が増える見通しとなり、今までにも増して診療体制の充実が図られます。
- 地方創生の重点施策の一環として、新成人を対象に、将来にわたって健康を維持してもらうことを目的として、血液検査や血圧測定を無料で受けてもらう「20 歳の健康プレゼント事業」を立ち上げます。
- 誰でもどこでも気軽に取り組める運動普及のために、ラジオ体操やけんこつ体操、シャキ!いき!健康法、ノルディックウォーキングを組み合わせ、自治会、企業、保育園等に指導者を派遣し、啓発に努めます。
- 「防災行政無線」が 4 月から運用開始となります。また、土砂災害警戒区域に指定された地区に防災行政無線や緊急速報メールなど、複数の手段により防災情報を伝えるとともに、現地に危険箇所を周知する「土砂災害警戒標識板」を設置し、円滑な避難行動ができる体制整備に努めます。



5 つの政策の柱②

子ども育成支援の充実 —子育て環境日本一！のまちづくり—

- 「妊婦さん応援事業」として、出産予定日までの妊婦健診助成に加え、予定日を過ぎて出産する人のために、健診の自己負担を出産まで延長して助成します。
- 第 3 子以上の子どもに対し、生まれてから 1 年間、紙おむつ代を助成する「紙おむつプレゼント事業」に取り組みます。
- 仕事と子育ての両立を支援する「病児保育」について、対象年齢の引き下げなど利用要件を拡充し、充実します。
- 奨学金返済の一部を支援することにより、阿賀野市への定住を促す取り組みとして「阿賀野市 U ターン奨学金補助制度」を創設します。
- 小中学校の自主的な活動に対して補助する「あがの学校活動応援補助金」を創設します。
- 年少児から低学年を対象に、基本的な体力をつけるため、それぞれの段階に応じてレクリエーションやニュースポーツを取り入れた「子どもの体力向上支援事業」を立ち上げます。



地方創生関連事業

地方創生に向けての重点施策

- 人口の現状を分析、人口の将来ビジョンを策定するとともに、地域特性を生かした将来につながる『阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を平成 27 年度中に策定し、積極的に「人口減少対策」および「地域活性化対策」に取り組みます。
- 五頭温泉郷に農業、温泉、バイオマス資源を生かした「市民交流農園ハウス・新規就農者支援ハウス」を整備し、農業の活性化と併せ、定住人口の増加、交流人口の拡大を進めます。
- 新潟大学との間で締結した「中学生生活習慣病予防事業に関する共同研究」を一步進め「健康寿命延伸・生活習慣病予防治療医学講座」を開設する予定です。
- 「あがの市民病院」開院と同時に、外来に生活習慣病の発生や重症化を予防・治療する「糖尿病・生活習慣病予防治療センター」を設置し、各種データの提供・解析・研究の成果を施策に生かします。
- 五頭温泉郷が「国民保養温泉地」の指定を受け、アンチエイジングの取り組みを進め「健康寿命延伸・生活習慣病予防治療医学講座」の開設と併せ、「健康福祉都市」として、広く県内外に情報発信し、地域活性化を図ります。



5つの
政策の柱⑤

生活に密着した住環境整備の促進 —魅力的なまちづくり—

- 自治会からの要望が多い「消雪施設」は、計画的に整備しながら、雪や災害に強い道路づくりを進めます。
- 「ごみ」の減量化と適正処理の推進について、リサイクルなど家庭ごみの排出量を減らす3Rの推進を取り組みます。また、老朽化したごみ処理施設の改修、設備の修繕を行い、今後の焼却場や最終処分場などの整備に当たっては、五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備推進協議会で検討を進めます。

- 子育て世代の定住化や市外からの転入促進策として「虹の架け橋住宅取得支援事業」を拡充します。また、空き家の適正管理と有効利活用を図るため「空き家リフォーム助成事業」を新たに創設します。



文化かおるまちづくり

- 地域交流センターとしての水原公民館、各種スポーツなどで利用する水原総合体育館において、それぞれ大規模改修を行い、今まで以上に利用しやすい環境を整えます。
- 総合型クラブやスポーツ団体への活動支援を通じ、子どもたちの自然体験や社会体験の活動を通して、社会性や豊かな心を育む取り組みを進めるとともに、市民の体力向上と健全な心身の育成に努めます。

市民力によるまちづくり

- 市民力を生かした自助・共助・公助による協働のまちづくりを進め、市民活動やボランティア活動に参加しやすい環境整備に取り組みます。
- 市民活動やボランティア活動への参加を促す取り組みとして「いきいきボランティア応援事業」を創設します。

5つの
政策の柱③

高齢者や障がい者福祉の充実 —健康寿命日本一！のまちづくり—

- 認知症施策が急務となっいることから、認知症の人と家族、地域住民、専門職等が誰でも参加でき、集う場として「認知症カフェ」を立ち上げます。また、認知症地域支援推進員の配置、初期集中支援チームの体制整備を行い、地域で認知症についての理解を深め、認知症の人と家族を支える体制づくりを進めます。

- 障がいのある人が安心して社会参加できる環境を整えるための新たな取り組みとして、援助を必要とする人が携帯し、いざというときに必要な支援や配慮を周囲の人をお願いする「ヘルプカード」を導入・普及します。障がいに対する理解を促進するとともに、つながりのある地域づくりを推進します。



5つの
政策の柱④

地域経済の活性化 —元気で明るく活力のあるまちづくり—

- 「がんばる農家応援事業」として、施設園芸ハウスの張り替え支援や種苗費を支援する園芸産地化支援、新規就農者中古農機具購入支援などを行います。
- 新潟県酪農発祥の地である市の酪農の担い手を確保するため「がんばる酪農家応援事業」に取り組み、酪農家の減少に歯止めをかけます。
- 国の交付金を活用し、市民から要望の多い「プレミアム商品券」を発行します。
- 小売業の事業支援として「中小小売店支援商品券」、温泉地への

- 誘客対策として「五頭温泉郷旅行券」、その他「あがの美味しいお米商品券」「あがの生活ギフト券」「あがの子育てギフト券」など、それぞれの商品券を発行し、地域経済を支える商工業や観光、農業の下支えを行います。
- 中小企業が新たな事業に取り組みやすくするため「創業・中小企業成長支援事業」を実施します。
- 五頭温泉郷の知名度を上げ、ブランド力を高めるために「ラジウム温泉」を生かし、健全な保養地として国が認める「国民保養温泉地」の指定を目指します。



平成27年度当初予算

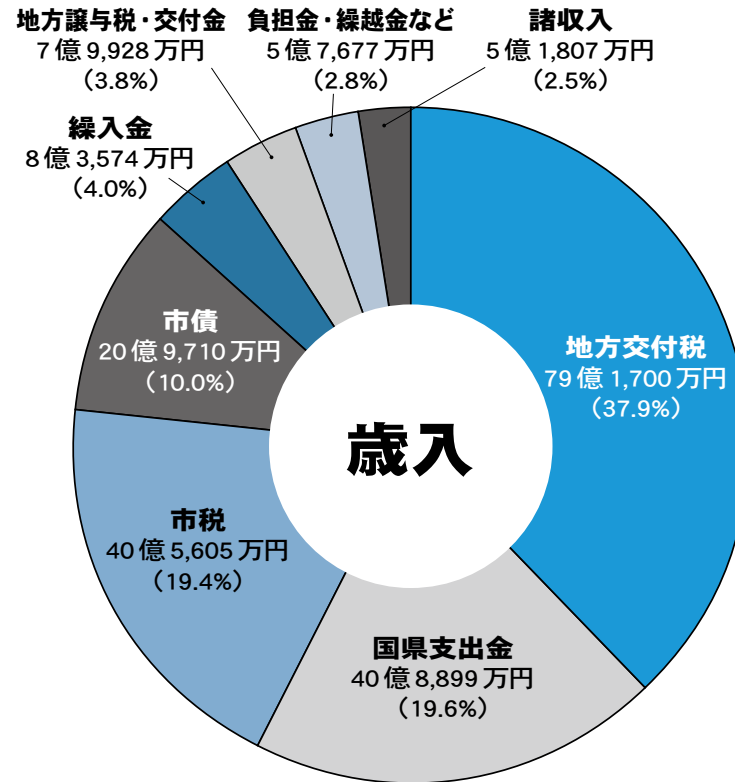
元気で明るく活力ある
魅力的なまちへ

平成27年度の一般会計予算は、市が掲げる「5つの政策の柱」の推進に加えて、前年度の補正予算に先行して盛り込んだ「人口減少対策」「地域活性化対策」を重点とする地方創生事業との一体的な取り組みを行うことで、よりスピード感を持って「元気で明るく活力ある魅力的なまち」を具現化する予算編成を行いました。

一般会計 当初予算

208 億 8,900 万円

(前年度比 △ 5.6%)



市の予算を 1 か月分の家計簿にしてみると…

市の一般会計予算を年収 400 万円の家庭に置き換えて、家計簿を作ってみました。首都圏では景気上向きといわれていますが、地域経済はまだまだ好転せず、給料も前

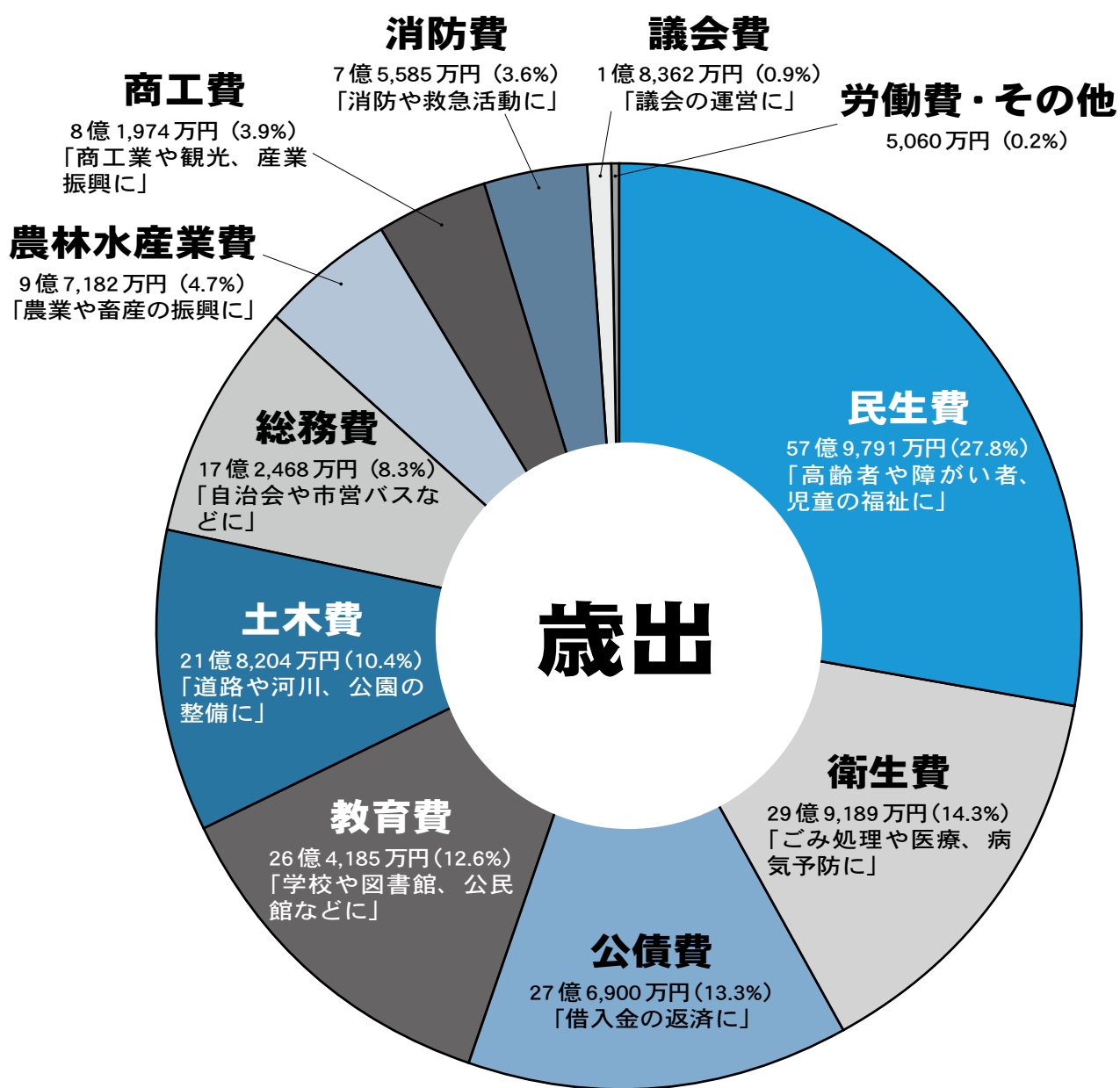
年度並みです。子どもへの仕送り(病院事業へ)が減った半面、新たな改修(水原公民館、水原総合体育館など)への費用も必要で、計画的な支出が求められています。

◆収入

	家庭	市	金額 (円)
給与	基本給	市税、地方交付税	191,000
	諸手当	地方譲与税・交付金、国県支出金	78,000
パート収入ほか		分担金・負担金、使用料・手数料など	13,800
預貯金利息		財産収入	500
預貯金の取り崩し		繰入金	13,300
前年度の残金		繰越金	3,200
銀行からの借り入れ		市債	33,500
合計			333,300

◆支出

	家庭	市	金額 (円)
食費		人件費	58,600
医療費、教育費		扶助費	55,200
光熱水費、消耗品費		物件費	39,900
車の修理費など		維持補修費	3,300
家の改修、車の購入費など		普通建設事業費	37,200
自治会費、サークル活動費など		補助費等	21,300
子どもへの仕送り		繰出金	65,900
預貯金の積み立て、株式購入		積立金、投資・出資金等	6,400
借り入れの返済		公債費	45,500
合計			333,300



事業会計・特別会計

特定の事業を行う場合や、特定の収入を特定の支出に充て、一般会計とは区別して経理する必要がある場合に設置する会計です。



◆事業会計◆

①水道事業会計

安全な水道水を確保・供給するための会計です。

収益的収入：13 億 3,590 万円 支出：12 億 7,345 万円
資本的収入：1 億 8,379 万円 支出：7 億 1,644 万円

②病院事業会計

水原郷病院の運営や新病院を整備するための会計です。

収益的収入：6 億 7,772 万円 支出：14 億 9,794 万円
資本的収入：29 億 6,491 万円 支出：29 億 7,019 万円

◆特別会計◆

①国民健康保険特別会計

50 億 4,636 万円

②介護保険特別会計

47 億 1,244 万円

③公共下水道事業特別会計

30 億 3,968 万円

④後期高齢者医療特別会計

7 億 6,869 万円

⑤集落排水事業特別会計

2 億 9,773 千円

⑥工業団地造成事業特別会計

4,422 万円

⑦少年自然の家特別会計

2,759 万円

⑧押切外四ヶ大字財産区特別会計

502 万円

■この記事に関する問い合わせは、財政課 財政係へ ☎ 62-2510 (内線 273)

平成27年度の阿賀野市の当初予算が、3月に開かれた市議会定例会で可決成立しました。その内容をお知らせします。(詳しい内容は、市ホームページに掲載しています)

仕事と生活の両立ができる 働きやすい環境づくりを目指して

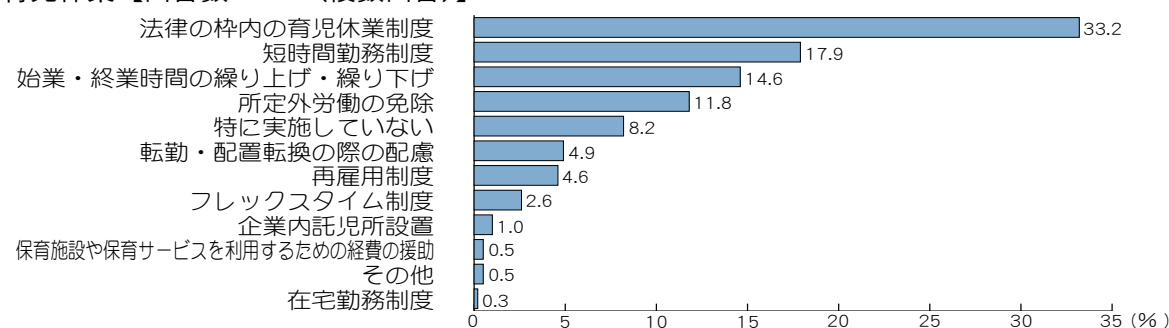
— 男女共同参画および少子化対策に関する事業所調査結果 —

市では、「男女がともに参画し、夢と幸せをはぐくむまちづくり」を実現するため、さまざまな取り組みを進めています。

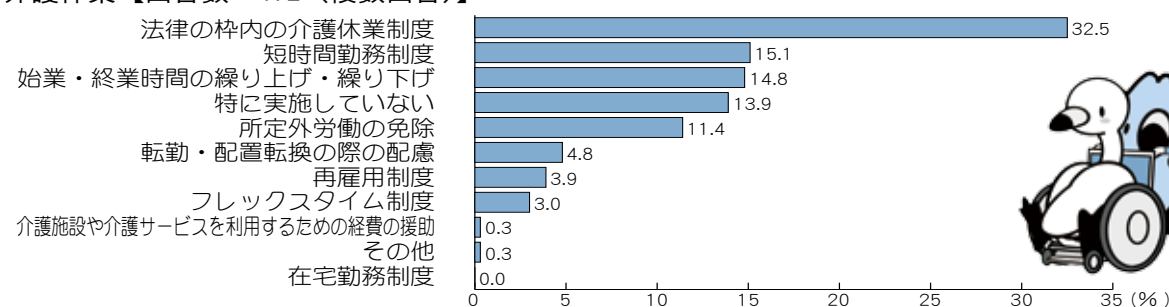
このたび、家庭と仕事の両立ができる働きやすい環境づくりを推進するため、男女共同参画および少子化対策に関する事業所調査を実施しました。調査結果の一部を紹介します。

育児や介護を行う従業員の支援

■ 育児休業【回答数：188（複数回答）】



■ 介護休業【回答数：172（複数回答）】



育児や介護を行う従業員への支援については、「法律の枠内の育児・介護休業制度」や「短時間勤務制度」の割合が高く、事業所内の支援体制が進んでいます。

しかし、休業中の従業員代替要員に

ついては、「部署内でやりくり」や「配置転換で代替」との回答の割合が高くなっています。

また、育児・介護休業制度を促進する場合の問題点では、「育児・介護休業などによる代替要員の確保が難しい」「職場で周りの人の業務量が増える」との回答の割合が高くなっています。

今後の取り組み

調査結果から、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図るための環境の整備」および「男女共同参画意識の啓発」を進めていくことが必要であることが見えてきました。

今後、この2点に重点を置き、市の男女共同参

画社会の実現に向けて取り組みを進めます。

調査に協力いただいた市内事業所の皆さんに厚くお礼申し上げます。

調査結果の詳細は、市民協働推進課で閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

■ この記事に関する問い合わせは、市民協働推進課 市民協働推進係へ ☎ 62-2510（内線 281）

春の火災予防運動が始まります — 4月1日（水）～7日（火） —

火災から住宅を守る 3つの習慣、4つの対策

阿賀野市の火災原因

ちょっとした不注意で火災が発生しています。たこ足配線やごみ、ホコリが原因で発火する事例は、日頃の点検や掃除で防ぐことができます。

■ 平成23年～26年の火災原因トップ5

- 第1位：電気配線・電気装置等（12件）
- 第2位：放火の疑い（7件）
- 第3位：まきストーブ・かまど関係（4件）
- 第4位：たばこ（3件）
- 第4位：ガスバーナー（3件）



3つの習慣、4つの対策

次の習慣と対策により、火災を大幅に減らすことができます。

■ 3つの習慣

1. 寝たばこは、絶対にしない。
2. ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
3. 使用中のガスこんろから離れるときは、必ず火を消す。

■ 4つの対策

1. 住宅用火災警報器を設置する。
2. 寝具、カーテンは、防災品を使用する。
3. 消火器等を設置する。
4. 高齢者や体の不自由な人を守るために、近所の協力体制をつくる。

■ この記事に関する問い合わせは、市消防本部 予防課へ ☎ 62-2058

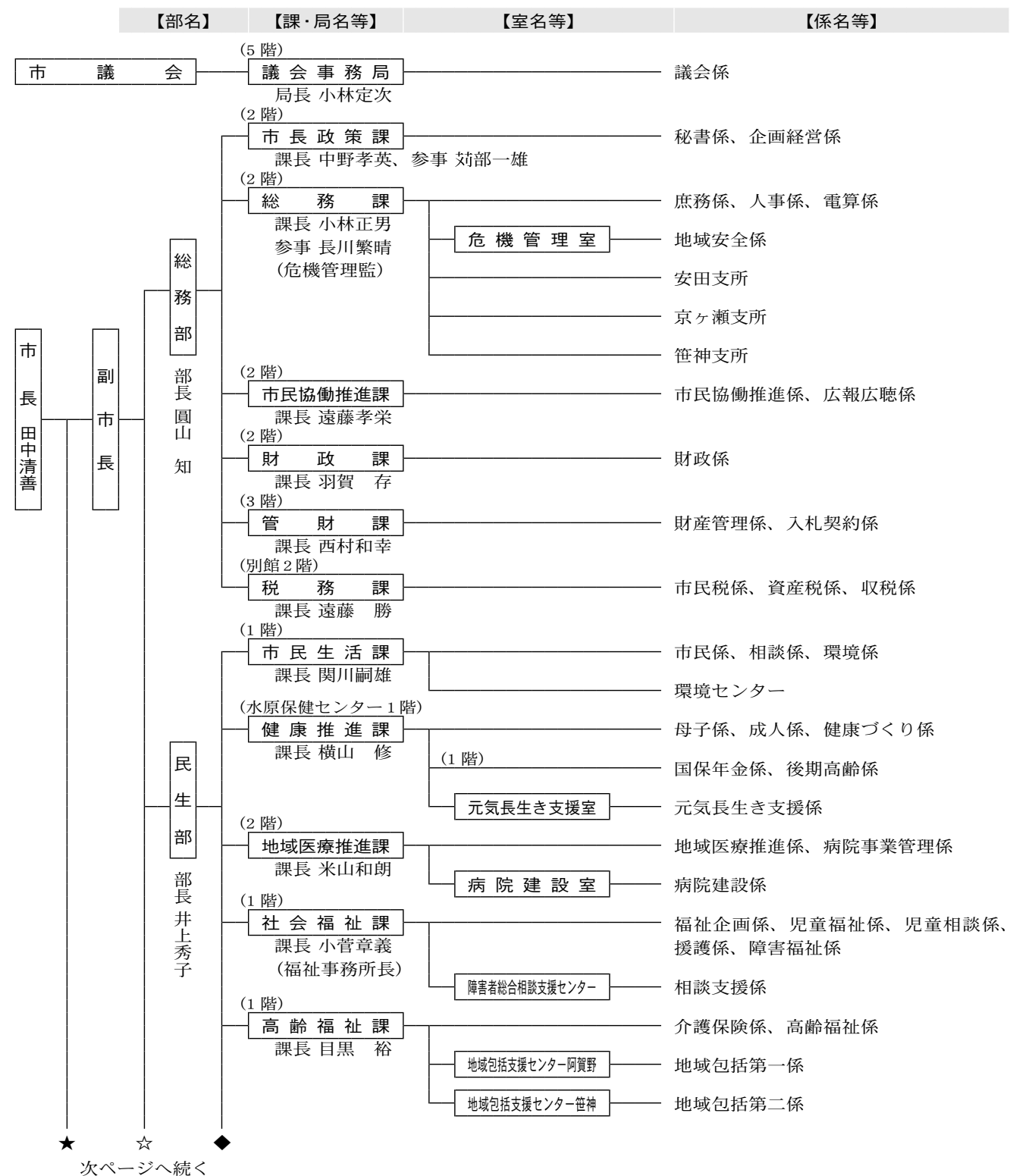
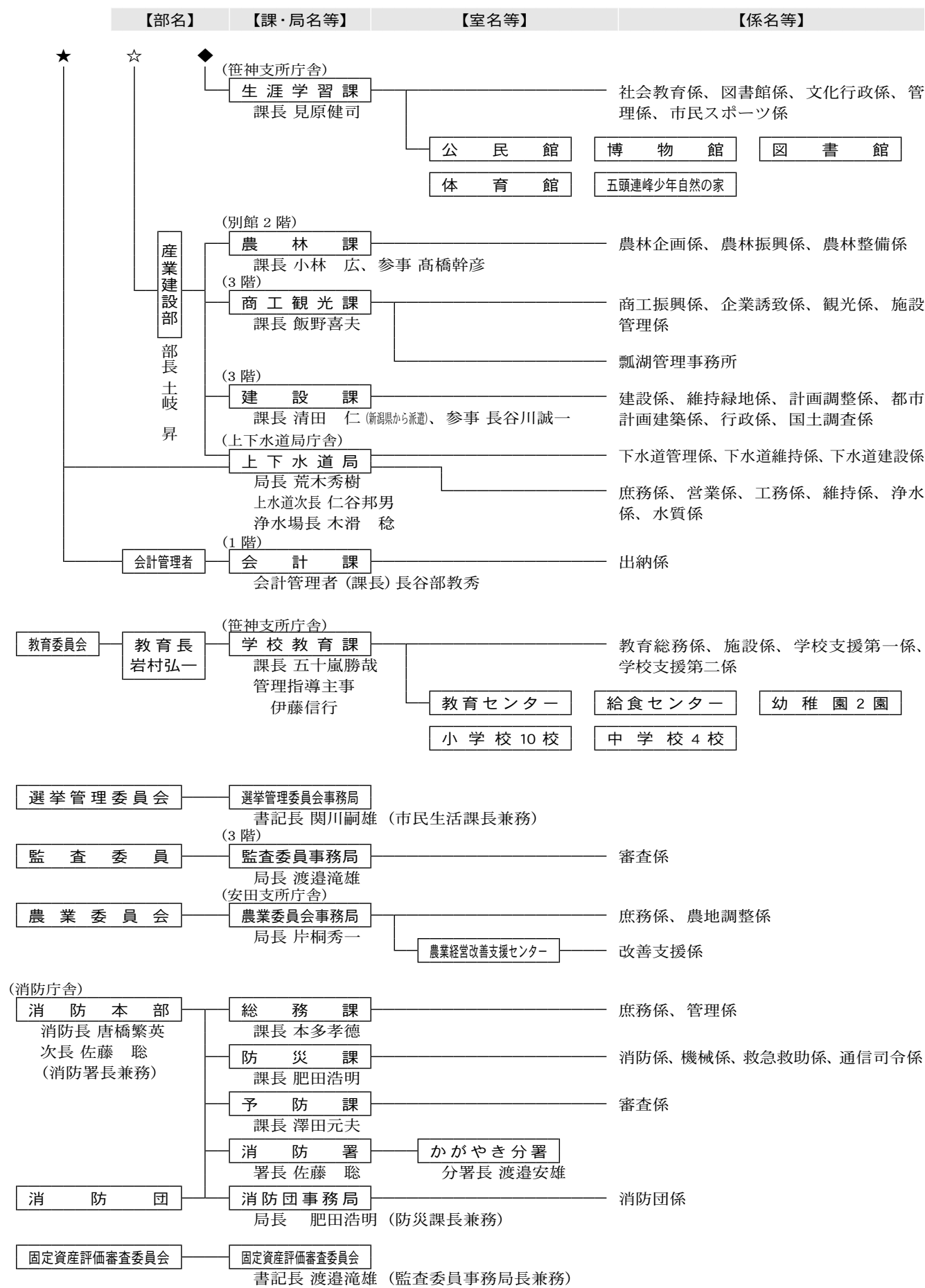
住宅用火災警報器は1個数千円で販売されています。設置により、最小限の被害で済んだ事例はたくさんあります。



平成 27 年度 阿賀野市行政組織

市の所有する財産を一元的に管理し、公共財産の効果的・効率的な運用を図るため、「管財課」を新設しました。

部・課・係等の名称と配置場所は次のとおりです（指定管理施設を除く）。職員名が記載されている「職員配置図」を市役所・各支所の受付に備えました。必要の際は、ご用命ください。



次ページへ続く

熟練した技能の証し！

第28回技能グランプリ銀賞受賞

2月20日から23日まで、幕張メッセ（千葉市）で第28回技能グランプリが開催され、石工職種で田辺石材店の田邊聡志さん（北本町）が銀賞を受賞しました。

このグランプリは、熟練技能者が技能レベルの日本一を競うもので、全国で28職種444人、新潟県で12職種16人が出場。新潟県選手団で最上位の成績を収めました。田邊さんは、「次回も挑戦して良い成績を収めたい。昔ながらの石の加工技術を皆さんに見てもらいたい」と抱負を話してくれました。



市民の生命を守ります

新たに高規格救急自動車を配備

防衛省の補助事業で新たに高規格救急自動車を配備しました。

配備された高規格救急自動車は、さまざまな傷病者に対応できるよう最新鋭の救急資器材を積載しているほか、ヘッドライトは夜間走行時の視界が従来のものよりも良く、赤色灯はどの方向からでも救急車の位置を確認しやすい構造となっています。

また、夜間の災害現場に対応するため、車両両脇に作業灯を取り付け、より安全・確実・迅速な活動が行えるよう工夫されています。

後世に昔話を受け継ぐ

あがのお話の会冊子寄贈

3月13日、昔話の伝承活動を行っている「あがのお話の会」代表の宮田レイさんと語り部の長谷川マサエさんが市役所を訪れ、長谷川さんが受け継ぐ24話の昔話を掲載した冊子「ばあの語り」とんむかしあつたてんが」を寄贈されました。

この冊子は、同会が3年前から準備し、あがの市民活動補助金を活用して200冊を作成。今後、市内の図書館や学校に寄贈される予定です。宮田さんは、「この冊子を見て、楽しみながら昔をよく知ってほしい」と笑顔で話してくれました。



左から、宮田代表、長谷川さん、田中市長

32種類の野鳥を発見！

瓢湖探鳥会・野鳥保護の集い

2月15日、瓢湖探鳥会・野鳥保護の集いが開催され、市内外から100人が参加しました。

雪が少ない中での探鳥会となりましたが、瓢湖では毎年数羽しか見られない「スズガモ」やパンダガモの愛称で知られる「ミコアイサ」など32種類の野鳥を見ることができ、参加者は冬季における瓢湖の野鳥観察を楽しんでいました。

午後からは、福祉会館で野鳥保護の集いが行われ、「力毛科鳥類生息状況調査」や各地の冬鳥情報の報告などが行われました。



検査結果で健康づくり

第3回地域医療市民講座

3月11日、水原病院の風間暢男医師を迎え、「検査結果は健康の羅針盤」の演題で講座が開催されました。

当日は、30代から70代までの20人が受講しました。受講者は、真剣なまなざしで話を傾け、講演時間が延長されるなど好評を博しました。受講者からは、「誰にでも分かりやすく、ユーモアのある話だった」「運動の大切さ、自分の生活習慣を見直したい」などの感想が寄せられました。



防災行政無線の運用開始！

避難情報などを市内全域に一齐放送

4月6日（月）から緊急地震速報や避難勧告などの緊急情報を地域に放送する「防災行政無線」の運用が始まります。

市内134か所に設置したスピーカーを通して、非常時の避難勧告や災害発生時の避難所開設などの情報を一斉に伝達します。

また、国の全国瞬時警報システム（通称・Jアラート）・安全安心メール・市ホームページと連動し、市民の安全を守るための情報を即時に発信します。



音楽を通じて命を考える

人権擁護委員会によるピアノ演奏会

2月19日、赤坂小学校で市人権擁護委員の山川敦子さん（中ノ通）を講師に迎え「ピアノ演奏会」が開催されました。山川さんは、ピアノを演奏しながら、曲と曲の間に「自分を大切にすること」や「友達への思いやりの心、相手の立場になって考えること」の大切さなどを語りかけ、参加した4、6年生の児童たちは真剣に聞き入っていました。児童は、「ピアノを弾いてみたいと思った」と感想を話してくれました。



一手入魂！

囲碁・将棋大会



◆◇ 結果（敬称略） ◇◇

囲碁	Aグループ	Bグループ
優勝	渡部春夫	笹川 汪
準優勝	田中 正	金子以長
3位	井上 久	川口 勝
将棋	Aグループ	Bグループ
優勝	樋口勝也	本多 士
準優勝	對馬吉春	中島拓也
3位	渡邊正純	渡邊秀成

2月22日、安田公民館で第46回囲碁大会と第44回将棋大会が行われ、26人の参加者による熱戦が繰り広げられました。

参加者同士の交流も積極的に行われ、大会の終了後には「また来年やりましょう」と言葉交わす様子も見られました。

ふるさと探訪

阿賀野市の歴史・文化・風土

豊富に残る市内の歴史的遺産

文化財と聞いて想像するものはないでしょうか。法隆寺など世界遺産や国宝級の文化財は、誰もが知っているところですが、また、県内では世界遺産の登録に向け進められている佐渡の金銀山も広く認識されている文化財です。

文化財は、人類の文化的活動によって生み出されたもので、特に価値が高く後世に残すべき遺産とされています。

阿賀野市にはどのようなものが存在するのでしょうか。市ホームページに一覧を掲載していますのでご覧ください。
(<http://www.city.agano.niigata.jp/life/3/10/361/>)

◆親鸞聖人伝説が残る木

4月下旬から5月上旬ごろに、満開の花が小島の地に春色を演出する「梅護寺の珠数掛ザクラ」です。

この桜の花は一様に紅色で、花びらは約80枚あり、花房が数珠のようにうつつむいて垂れ下がって咲く特徴があります。

また、その由来は鎌倉時代にさかのぼり、親鸞聖人が残した植物関連の伝説の中の一つとなっています。

親鸞聖人が越後の国に流罪となった際、梅護寺付近に滞在し、その後、他の地へ向かうときに、手に持っていた数珠を桜に掛

け、「私の教えに誤りがなければ、この桜は数珠のようになるだろう」と言われ、その桜は親鸞聖人の言葉どおり、数珠のような花房を付けるようになったと言い伝えられています。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。
(<http://www.city.agano.niigata.jp/soshiki/kankou/6041.html>)



◆12本の後継樹

平成14年、指定樹が「ならたけ病」に感染。数年にわたる治療の努力も報われず、その長きにわたる一生を終えました。一方、治療とともに取り組んだのが組織培養による後継樹の増殖でした。培養は見事成功し、平成19年には正式後継樹2本を含む12本を梅護寺に移植しました。

その後は、地元ボランティア「珠数掛ザクラを守る会」の皆さんの献身的な保護管理もあつて、順調に成長しています。満開に咲き誇る伝説の桜、タイミングを逃さず、そのきれいな表情をご堪能ください。



※「じゅず」は普通「数珠」と書きますが、「珠数」を用います。

かわいいイラストや
すてきなコメントを
ありがとう！
これからもどんどん
送ってください。
楽しみに
待ってま〜す♪



P.N そうたさん

おしゃべり 広場



- 潮田さんの記事を楽しく拝見しました。子どもたちがうれしそうではっこりしました。
(60代・女性)
- 「まちがいさがし」を孫に負けたらいいと思ひ、初めて応募しました。
(60代・男性)
- ☆ 今月号のクイズにも挑戦して、かわいいごずっちょグッズを手に入れたください。
(30代・女性)
- 最近、育児中で家に居ることが多くなり、広報を読む機会が増えました。もちろん目がいくのは子育て情報です。
(30代・女性)
- ☆ 今月号から、もつと身近に広報紙を読んでもらえるよう、写真を多く使っています。
(60代・女性)
- 3月号の健診の記事を読んだ、健診の大切さを再認識しました。これからも健康に関する情報を載せてください。
(70代・女性)
- 「ふるさと探訪」で天朝山の歴史を知ることができて良かったです。
(70代・女性)
- 毎号、「私の住む地域」を楽しみにしています。その地域の歴史を知ることができるのが良いです。
(30代・男性)
- 結婚を機に阿賀野市に移住しました。地域のことが詳しく分かる「私の住む地域」が気に入りました。
(40代・男性)
- 表紙のバドミントンに励む子どもの顔がすがすがしくて良かったです。
(80代・女性)
- ☆ 有名選手の指導により、上達しようとして真剣に取り組む子どもたちが姿が印象的でした。
(40代・女性)
- 広報お知らせ版に、水原郷病院に新しい医師が着任すると載っていました。市民の一人として身近で明るいニュースでした。
(40代・女性)
- ポケ防止に「まちがいさがし」を楽しみにしています。見つけたときはスッキリします。
(80代・女性)
- 子育てに関する市の取り組みがよく分かりました。私も子育て中ですが、さまざまな支援があり助かっています。
(20代・女性)
- 食育のページは読みごたえがありました。子どもたちは、いろいろな体験ができて良かったと思います。
(40代・女性)



ごずっちょ通信 No.34

ごずっちょのお出掛け情報や
近況をお知らせします

問い合わせ

市民協働推進課 市民協働推進係 ☎ 62-2510 (内線 282)

【フェイスブック】 <http://www.facebook.com/gozuccho.agano>

【ホームページ】 <http://www.city.agano.niigata.jp/site/gozuccho/>

★ 3月も市内外にお出掛けしてきたっちょ。



水原保健センターで3歳児健診に来た親子に交通ルールの遵守とシートベルト・チャイルドシート着用の必要性を呼び掛けてきたっちょ。市外のイベントは、水の駅「ビュー福島潟」で開催された「雁と白鳥シンポジウム」に、福島潟イメージキャラクターの「クイイ」と一緒に出演してきたっちょ。ごずっちょ

のお出掛け情報はホームページを見てっちょ。

★ ごずっちょグッズの新商品が発売されたっちょ！

メゴコロハートワークスさんから「コースター」が発売されたよ。価格は500円で販売所は、市内のイベントや「おんこ茶屋」だよ。

おんこ茶屋には、コースターの他にも作品が置いてあるから寄ってみてっちょ。



難易度 ★★☆☆☆
広報クイズ

あなたに挑戦
 今月は「写真クイズ」

5つのまちがいさがし



図書館では、毎月、新しく入った本や四季をテーマにした図書の展示紹介を行っています（写真は、水原中学校市民図書書の展示コーナーです）。4月23日（木）から5月12日（火）まで「こどもの読書週間」です。本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知るためにも、ぜひ図書館へ足を運んで、お気に入りの一冊を探してみてください。※左側が実際の写真です。

★3月号の正解は次のとおりです。★

★応募の方法など★



上の2つの写真で、5か所だけ違うところがあります。クイズの答えと広報紙への感想や意見を書いて、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、はがきか電子メール、FAXで4月15日（水）必着で応募ください。ペンネームや匿名での掲載を希望する人は、その旨をお書きください（氏名も必ず書いてください）。正解者の中から抽選で10人にゴズッちょグッズをプレゼントします。
 送付先：〒959-2092 阿賀野市役所 広報広聴係
 電子メール：shiminkyodo@city.agano.niigata.jp
 FAX：62-0281

★今月のプレゼント★

クイズの答え

郵便番号・住所
 氏名・年齢・電話番号
 今月号の感想などをお書きください。

阿賀野市役所
 広報広聴係 行



広報あがのでは、皆さんからのご意見ご感想をお待ちしています。その他、地域話題や珍しい出来事、自慢のイラストなど、どしどしお寄せください。

わくわくクッキング♪

小松菜とえのきのおかかじょうゆあえ

【材料】（4人分）

小松菜……………200 g
 えのきだけ……………1/2 袋
 油揚げ……………1/2 枚
 おかかじょうゆ
 かつお節（3 g）……………1 袋
 白すりごま……………大さじ 1
 しょうゆ……………大さじ 1/2
 みりん……………大さじ 1/4

【作り方】

①小松菜は色よくゆでて、3 cmの長さに切る。えのきだけは根元を切り落とし、長さを半分に切って熱湯でさっとゆで、ざるに上げて水気を切る。油揚げは、フライパンで油をひかずに両面をさっと焼き、細切りにする。
 ②かつお節、白すりごま、しょうゆ、みりんを混ぜ合わせ、しばらく味をなじませ、おかかじょうゆを作る。
 ③①をボウルに入れて、おかかじょうゆであえる。

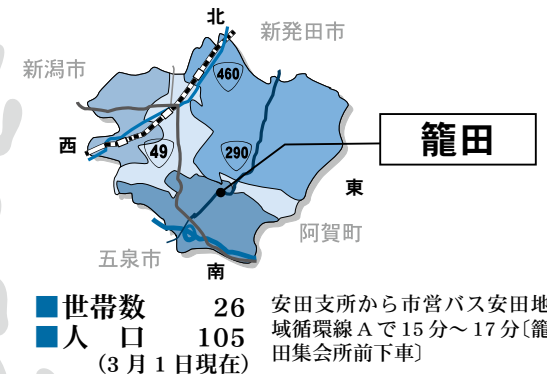


私の住む地域

●今月は**籠田**です●



諏訪神社の拝殿の彫刻（左）と春のクリーン作戦（平成 26 年）



湿地帯の新田開拓が地名の由来
 籠田は、安田支所を出て、旧国道49号の市道寺社保田久保線を阿賀町方面に約800m進み、国道290号との交差点を左折、新発田方面に約2・3km向かった先、新潟県東部産業団地入り口である福永交差点を超えた最初の集落です。土石流の泥が堆積した湿地帯を蛇籠や柵を設けて開拓を進めたことが地名の由来といわれており、福永、羽多屋、中山、ツベタ、丸山の各自治会に接しています。

諏訪神社の向拝には見事な彫刻
 籠田には、諏訪神社、古諏訪神社、稲荷神社の3つの神社があります。この中で、昭和9年に新築した諏訪神社の本殿と拝殿には、向拝（屋根の中央が前方に張り出した部分）に見事な彫刻が施されており、地域の宝として後世に伝えていきたいと考えています。

「みどりの会」が地域活動を伝承
 籠田・羽多屋の幼保園児や小学生約20人で構成する「みどりの会」。子どもたちとその保護者が中心となり、盆踊り・さいの神などの地域活動を行っています。8月13日開催の盆踊りは、一時途絶えていましたが、若い世代の発想で約40年前に復活したものです。2自治会の中心部、稲荷神社前にやぐらを組み、中学生が中心となって唄や笛、太鼓の地方を担います。夕方、暮参りの後、地方が発する音色とともに住民が集まり、帰省客も交え、籠田版に脚色した安田甚句を踊り、大いに盛り上がります。

1月15日開催のさいの神では、籠田多目的集会所前に竹を組み、スキを束ねて高さ2mほどのさいの神を作ります。参加者には豚汁が振る舞われ、スルメや餅を焼いて無病息災を祈願。終了後は、懇親会を開催して親交を深めています。昔からの世帯で構成され、小さい集落でもあることから、何をすることも集まりがよいのが特徴です。常会、学童・親子世代・婦人部等で、必要に応じて講演会や各種講習会を開催し、地域の活性化につなげています。子どもたちもあいさつを欠かさず、日頃からみんなどで声を掛け合う仲の良い自治会です。（取材協力 下條幸雄さんほか6人）

活を掲げ、農村景観の保全活動を行っています。子どもたちも春と秋のクリーン作戦に参加。小さいころから環境保全に関する意識を高めており、今では地域のボイ捨ても少なくなっています。

2025年問題
 これから迎える社会にどう対応すべきか難題が山積しています。その一つは、いわゆる団塊の世代といわれる人たちが全て75歳を迎える2025年問題です。当市の人口の年齢構成は、現在、0～14歳が11・6％、15～64歳が59・8％、65歳以上が12・8％となっており、人口推計によれば、2025年には、それぞれ10・3％、54・3％、15・9％、19・5％になるとされています。

特に注目すべきは75歳以上の人が3・7ポイント高くなり、約5人に1人が75歳以上になるということです。高齢者の一人暮らしや、一日中誰とも話さない日があるといった人も増加するのではないかと懸念されます。このような社会を避けるためには、これまで以上の医療や介護、予防に力を入れるとともに、住まいや生活支援も含めた包括的な支援サービスを提供する「地域包括ケアシステム」

を早期に確立し、全ての人が安心して生活が送れる社会の構築を目指した取り組みを進めていかなければなりません。もう一つは、15～64歳の生産労働人口、いわゆる働き手が5・5ポイント減少するということです。地域の産業をどう守り維持するのか、とりわけ高齢化が進む農業の担い手をどう確保するのか、これらの社会の在り方が問われています。

とかく人口減少問題だけが論じられる傾向がありますが、健康づくりや見守りなど高齢者の方々に寄り添った施策も課題となっています。また、何もなければ縮む一方の地域の活力、経済産業をいかにして持続的に発展させることができるのか、これらも踏まえたまちづくりが求められています。今年は地方創生元年といわれています。市の地方版総合戦略の策定に当たっては、この点も踏まえ幅広くしっかりと議論を重ね、実効性のある計画づくりを進めてまいりたいと考えています。

田中清善

田中清善



作・渡辺 紀子

スマイルキッズ

Smile Kids



植木 太陽くん (3歳) / 姥ヶ橋 (パパ茂晴さん・ママ晃子さん)

「たいよう」は、ことし パパといっしょに「たうえ」をするんだ。いっぱい おてつだいができるように、まいにち げんきにあそんで、ちからをつけてるの☆「ねるこはそだつ」っていうでしょ。ぐっすりとねむれるように、ねるまえは、ママにえほんをよんでもらうんだ。きょうは どのえほんを よんでもらおうかな〜♪

もう一匹の家族



知らない人が来たときは大きな声で知らせるよ。毎日の散歩が大好きで、1時間半も歩くときもあるんだよ。

わたしの名前は「愛^{あい}」だよ。今年の4月で4歳になるんだ。家族からはとってもかわいがってもらっていて、「お手」や「おすわり」、「待て」もできるんだよ。普段はおとなしいけど、



早川進 さん (外城町) 宅の「愛」ちゃん



3月16日、笹神地区の水田で堆肥散布が始まりました。毎年、春と秋の2回に分けて約640ヘクタールの水田に散布されます。堆肥の散布により化学肥料などを50%以上低減し、安心して安全なコメづくりを目指します。



本間正樹さん(飯山新)が栽培しているイチゴ「越後姫」です。大粒でジューシー、そして甘みが強く果肉が柔らかいのが特徴です。今年は暖冬ということもあり、甘みも強いそうです。収穫は6月上旬まで続きます。

市内見て歩記のコーナー等で紹介しきれなかった写真や出来事を紹介します。

取材カメラは見た!

